

令和4年度

事業計画書



高齢者生活支援施設 けいわ荘
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
厚木市荻野地域包括支援センター
え ま 一 ぶ る
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）
け い わ 保 育 園
け い わ 星 の 子 保 育 園

目 次

〔施 設〕

はじめに	1
I 法人の経営理念	1
II 経営計画	1
III 重点取り組み事項	2
IV 部門別事業計画	3
1. 生活支援課	3
1) 生活相談員	3
2) ケア第1（さざんか・コスモス）	4
3) ケア第2（陽だまり）	5
4) ケア第3（ユニテさくら・ひまわり）	6
5) 施設ケアマネージャー	7
6) 医務	8
7) 栄養	9
2. 地域支援課	11
1) 居宅介護支援	11
2) 短期入所生活介護	12
3) 通所介護	12
4) 訪問介護（含. 障害福祉サービス）	13
3. 萩野地域包括支援センター	15
4. ケアプランセンターけいわ	17
5. えまーぶる	18
1) 通所介護事業所	18
2) 居宅介護支援事業所	19
6. ケアハウスえがりて	20
7. 管財課	22
8. 総務課	25
9. 研修センターけいわ	27
令和4年度年間行事予定表（案）	29

〔保 育 園〕

けいわ保育園	30
基本理念	30
重点取り組み事項	30
達成目標及び具体的取り組み	30
行事計画	31
けいわ星の子保育園	33
基本理念	33
重点取り組み事項	33
達成目標及び具体的取り組み	33
行事計画	34

令和 4 年度

事業計画書



高齢者生活支援施設 けいわ荘
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
荻野地域包括支援センター
え ま 一 ぶ る
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）

目 次

はじめに	1
I 法人の経営理念	1
II 経営計画	1
III 重点取り組み事項	2
IV 部門別事業計画	3
1. 生活支援課	3
1) 生活相談員	3
2) ケア第1（さざんか・コスモス）	4
3) ケア第2（陽だまり）	5
4) ケア第3（ユニテさくら・ひまわり）	6
5) 施設ケアマネージャー	7
6) 医務	8
7) 栄養	9
2. 地域支援課	11
1) 居宅介護支援	11
2) 短期入所生活介護	12
3) 通所介護	12
4) 訪問介護（含. 障害福祉サービス）	13
3. 萩野地域包括支援センター	15
4. ケアプランセンターけいわ	17
5. えまーぶる	18
1) 通所介護事業所	18
2) 居宅介護支援事業所	19
6. ケアハウスえがりて	20
7. 管財課	22
8. 総務課	25
9. 研修センターけいわ	27
令和4年度年間行事予定表（案）	29

はじめに

理事長 小島 操

令和4年度も新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束しておらず、困難を感じます。ご利用者様や職員の安全安心を優先し、一日も早い収束を願いながら円滑な運営ができるよう、また、地域関係の連携を強化しながら職員一同、一丸となって取り組んでまいります。

お陰様で敬和会は創立40周年を迎えます。「法人の理念」を踏まえ、社会福祉事業の扱い手としてふさわしい事業を適正に行ってまいります。そして、長期的な存続が図れるよう経営基盤の強化に力を入れ、高齢、保育共に連携し合いながら取り組んでまいります。

また、昨年度けいわ荘施設長並びにけいわ星の子保育園々長の交代を行いました。新しい「長」のもと、職員の団結力が増し、この一年が順調に推移してきましたことをご報告させて頂きます。

施設長 関 紘太

前年の介護報酬改定により、職員の介護に対する働き方にも変化を求められるようになりました。今年度は、安定かつ継続的な運営は勿論のこと、職員一人ひとりに焦点を当て、法人と一緒に邁進できるよう、下記に示した通り経営計画を策定いたしました。

I 法人の経営理念

1. 利用者に敬愛の情を持って接し、「安らかなる老人の生き甲斐を守り育む」精神を重んじ、明るい施設づくりと更なる安心できる地域福祉の拠点づくりに努めます。
2. 利用者一人ひとりをあるがままに受け入れ、人間的な生活が楽しくできるよう努めます。
3. 創造性と柔軟な思考で利用者に信頼される介護に努めます。

この3点を基本理念として、今日的な地域福祉の拠点となる施設づくりに努めます。

II 経営計画

(1) 収支と財務管理

- ・収支バランスを適切に見定め、財務管理を行う。
- ・各事業所、各部門で収支に対する意識づけを行い、法人全体で経営戦略を模索し、情報共有を行いながら業務を実施する。

(2) 職員意識の向上推進

- ・職員は、培ってきた伝統を活かしつつ、変化に素早く対応できる考え方が必要となる。
- ・職員が原点を見つめ直し、プロフェッショナル意識を持ち、業務にあたることができるよう努める。

(3) 人材の育成

- ・職員の個性にあった育成方法を実施する。
- ・BSC 行動指針にのっとり、人材が育成できるよう、個人面談の定期実施、プリセプター制度などの手法を用いて進めていく。

(4) 人材確保

- ・将来的な人材不足に陥らぬよう、法人全体で情報共有、次年度を見越した新卒者の採用計画を熟慮し、職員確保のための体制づくりを進める。
- ・外国人特定技能第1号実習生の雇用を継続し、実習生の生活の安定が図れるよう、支援する。

III 重点取り組み事項

今年度の重点取り組み事項として、以下の4点をあげました。

(I) チームワークの強化

—チーム力の強み—

【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識

(II) 人材の確保と職員の育成・定着

—人材確保の強化と人材マネジメントの推進—

(III) 安定的持続可能な健全経営

—法人の安定経営を図る—

(IV) 利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供

—WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—

IV 部門別事業計画

1. 生活支援課

- ①職員一人ひとりが専門性を持ち、チームとして利用者のケアに努める。
又、互いに思いやりを持ち、相手の立場を理解出来る関係性の構築を行う。
- ②新人職員にはプリセプター制度を活用していく。又、中堅から経験年数の高い職員も、常に新しい知識や技術等を学ぶ機会を提供し、職員の育成を行う。
- ③安定な経営を維持する為に、稼働率や実績を常に意識し把握していく。又、新たな加算の取得を目指していく。
- ④ご利用者やご家族のニーズを生活に生かしながら安心して過ごせる環境を提供する。

1) 生活相談員

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①多職種との連携 情報共有	①報告・連絡・相談を徹底し 共通の認識を持つ	令和4年 4月	令和4年 9月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①知識と技術の向上	①施設内外部の研修への参加	令和4年 4月	令和4年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①利用者の確保 稼働率 95% ※	①他事業所に営業を行う。又、入所待機者の状況把握に努める	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①ご利用者やご家族の意向確認	①-1 日頃からご利用者の状態把握に努め、ご家族と密に連絡を図る ①-2 終末期の意向は段階的にご家族の意向確認を行う	令和4年 4月	令和4年 9月

2) ケア第一（さざんか・コスモス）

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①職員同士のコミュニケーションが図りやすい環境づくり ②モチベーションの向上を図る環境作り	①報告・連絡・相談の徹底と習慣化。定期的な会議の場を設け意見交換・情報の共有化を図る ②-1 個人の持ち味の発掘、役割を持ち責任感を高める ②-2 年間目標設定を行い、目標に向かっているか定期的に確認を行っていく	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①介護知識・技術の向上 ②労働環境の整備 ③資格取得の推進・強化	①施設内研修参加。職員個々が学びたいと思う事や職員レベルに合わせた外部研修への参加 ②随時業務の見直し、改善を行う。有給休暇取得、連休の確保 ③資格取得に向けた情報提供	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①空床期間の短縮 ②経費削減	①稼働率を意識する。新規短期入所ご利用者を積極的に受け入れる ②消耗品の使用量・状況を把握して無駄を省いた経費削減に取り組む	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係	①ご利用者個々のその方らしい生活、サービスの提供 ②余暇・行事活動	①ご利用者、ご家族のニーズに合わせた計画の立案とケアの提供 ②季節毎にイベントの開	令和4年 4月	令和5年 3月

	の継続— の充実 ③チームケアの充実・ICT化の推進 ④家族との連携	催。ご利用者個々の趣味に沿った活動の支援 ③記録電子化、科学的根拠に基づいた介護の推進・定着を図りサービスの向上と業務の効率化を図る ④ご家族面会時には近況の情報を伝えし要望等の確認をする。イベント時や普段の様子の写真をご家族へ送付する		
--	---	--	--	--

3) ケア第二（陽だまり）

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①コミュニケーションが図れる環境づくり ②業務の環境作り	①フロア会議・委員会等を実施し、情報の共有化を図る ②-1 随時業務の見直し ②-2 有給休暇の取得	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①研修の充実・介護技術の向上 ②資格取得の支援	①-1 施設内・各職員にあつた、外部研修への参加の促し ①-2 部署内勉強会の実施。 ②取得可能な職員へ情報提供	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①稼働率の意識。 ②コスト削減	①定数を意識し業務を行う。短期入所の新規利用者を積極的に受け入れる。怪我等による入院などで空床が出来ない様に、事故を未然に防ぐ ②-1 節電・節水の徹底 ②-2 本当に必要な物かを見極めを検討してから購入	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①ご利用者の個々にあった生活の尊重。 ②あるがままを受け入れ、日々の生活の向上。 ③年間行事の充実 ④外出や地域行事への参加 ⑤対応困難な方の受け入れ	①ご利用者・ご家族のニーズに合わせた計画の実施 ②ご利用者にあった生活の支援 ③毎月、季節感・楽しみを感じられるプログラムの実施 ④地域の方々との交流の機会を充実出来る様に努める ⑤地域のニーズに対応できる様に重度認知症の方の受け入れられる様環境を作る	令和4年 4月	令和5年 3月

4) ケア第三（さくら・ひまわり）

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①職員同士の信頼関係の構築を図る ②モチベーションを高める環境作り	①毎日の引継ぎやミーティングで情報共有、意見交換を行いチームワークの向上を図る ②年間の目標設定を行い、定期的に目標に向かい行動できているかを確認する	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・	①研修の充実と介	①施設内研修参加。職員レベル	令和4年	令和5年

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

	定着 一人材確保の強化と人材マネジメントの推進	護技術の向上 ②労働環境の整備 ③資格取得の支援	ルに合わせた外部研修への参加 ②有給休暇取得や連休の確保 ③資格取得の情報提供を行う	4月	3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①空床期間の短縮 ②経費削減	①空床が出た場合短期入所で使用し空床期間の短縮を図る ②消耗品の使用量を把握し無駄を省く。節水、節電に努める	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①利用者様に満足して頂けるサービスの提供 ②余暇活動の充実 ③家族との連携 ④地域密着会議の実施 ⑤介護実習、看護実習の受け入れ	①意向に基づいたケアの提供 ②季節毎のイベントの実施各利用者様の好きな活動の支援 ③コロナ禍でも家族との関係が途切れないようイベント時の写真や様子をご家族に送る ④地域密着型運営推進委員会を年4回実施 ⑤実習の受け入れに協力する	令和4年 4月	令和5年 3月

5) 施設ケアマネージャー

重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①ケアマネ間での情報共有	①コロナ禍でケアプラン会議の書面開催も増加している為進捗状況や課題など適時確認・共有していく	令和4年 4月	令和5年 3月
II 人材の確保と職員の育成・定着 一人材確保の強化と人材マネジメントの推進	①施設ケアマネの仕事を知つてもらう	①根拠のあるケアを立案、多職種で協力しながら実践しケアマネの仕事に関心を持ってもらえるよう努める	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①ケアプランを適切な時期に作成する	①1年毎、状態変化時などプランの見直しを確実に行う	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①ご利用者やご家族との信頼関係を築く	①-1 ご利用者のお話をよく聞き思ひを汲み取り、不安・不満が軽減するよう支援する ①-2 入居者の変化や日々の生活を適宜お伝えし安心していただけるよう努める	令和4年 4月	令和5年 4月

6) 医務

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①定期的に方向性や考え方を確認することができる ②個々の能力が發揮できる ③コミュニケーションを大切にする	①-1 情報を共有し意見交換する ①-2 多職種との役割分担により専門性を発揮していく ①-3 看取りケアの実施 ②お互いを理解し合い、補い合える関係性作りに努める ③助け合いの気持ちを持ち協調性のある関わりをしていく	令和4年 4月	令和4年 9月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①向上心を持って知識の習得をする ②多職種との協力ができる	①-1 研修や自己学習を通して専門性のある知識を身につけていく ①-2 感染対策の指導を実施する ②相談しやすい環境づくりや信頼関係の構築ができるよう、チームの一員として参加する	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

		③効率的な勤務体制を整える	③休暇、有休を取りやすくする		
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①感染拡大を防ぐ ②ショートステイの稼働率を下げない ③コスト意識を持つ	①感染対策を継続し、必要な情報収集と職員指導に当たる ②医療依存度の高い人やご家族の状況に応じた受け入れの実施 ③衛生材料費、消耗品、光熱費の無駄の削減	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①ショートステイの受け入れを維持する ②在宅サービス提供者との協力 ③リスクマネジメントが共有できる	①感染対策を重視しながら緊急ショートステイやご家族の意向に沿えるサービスの提供をしていく ②情報交換や相談などをしながら協働してサービスが実施できるよう、柔軟な対応と誠実な仕事を心がける ③ケアの実施においては、リスクを考慮し予測しながら行う。カンファレンスなどで気づきを発信し情報の共有化を図る	令和4年 4月	令和4年 9月

7) 栄養

重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①活発なコミュニケーションを図る ②モチベーションの向上 ③信頼関係の構築	①「報連相」の徹底と習慣化 情報共有に努める ②モチベーションを保つため、適度なリフレッシュができる。(年次有給休暇を5日以上取得する) ③働きやすい職場環境にする	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

			る。仕事以外でも飲み会等の交流ができる機会を作る	4月	9月
II	人材の確保と職員の育成・定着 一人材確保の強化と人材マネジメントの推進	①栄養士、調理師、調理補助員の個人のスキルアップ ②労働環境の整備 ③新人職員の育成とサポート	①施設内研修や外部研修への参加。有資格者による業務指導 ②厨房内作業の標準化や定期的な職員面談の実施 ③業務上の OJT の見直しと実践	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 一法人の安定経営を図る一	①コスト削減 ②介護報酬の取得 ③食事のPR活動	①定期的に商品の価格や業者を見直し、より適したものを見直し、より適したものを見直し、より適したものを導入する。(栄養課会議等で議題にする) ②栄養に関する加算を継続的に取得できる ③イベント食の充実 魅力的な食事の提供	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①食事サービスの充実 ②ご家族への情報提供	①嗜好調査やミールランドの実施。安心、安全な食事提供に努める ②栄養課通信(めるしい)の発行(年4回)	令和4年 4月	令和5年 3月

2. 地域支援課

〔基本目標〕

- ① お互いを認め合い、情報を共有し見える化を強化する。
- ② 利用者のニーズに、柔軟な思考で質の高いサービスが提供できるようにする。
- ③ ICT を駆使して、会議や外部研修への参加・多職種連携の手段を構築する。

1) 居宅介護支援

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①報連相を徹底 し、チームでケ アマネジメント を行う	①-1 週1回ミーティング開 催し、各担当利用者の状況 や進捗を確認・共有する ①-2 悩みや相談にはスーパ ービジョン実施する事で個 人での抱え込みを防ぐ体制 を構築する	令和4年 4月	令和4年 9月
II	人材の確保と職員の育成・ 定着 —人材確保の強化と人材マ ネジメントの推進—	①質の高いケアマ ネジメントスキ ルの習得 ②休暇を取得しや すい環境つくる	①-1 各研修会等への参加。 ①-2 事業所内での事例検討 会の開催 ①-3 関係資格取得の応援。 ②-1 事前に希望休を確認 ②-2 取得しやすいシフト作 成する	令和4年 4月	令和4年 9月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①担当上限件数を 満たす ②特定事業所加算 Ⅱの維持。	①個人のキャパシティを考慮 しつつ、上限件数(35 件)を満たせる様に新規取 得する ②継続して特定事業所加算Ⅱ を維持できる体制で業務を 行う	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り 添った質の高いサービスの 提供 —WITHコロナの環境下で も繋がりの途切れない関係	①コロナ環境下で も継続した事業 所運営が出来る ②コロナ環境下で も事業所・個人	①タブレットを使用した分業 (リモートワーク)を実施 し、事業所として運営継続 できる体制を構築する ②SNSを活用した情報収集	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

	の継続—	間での情報共有を行う ③地域との関わりを持つ	や共有を行う ③行政や地域包括支援センター主催の研修会や交流会へ出来る限り参加する		
--	------	---------------------------	--	--	--

2) 短期入所生活介護

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①情報の共有化 ②働きやすい環境の整備	①ミーティングで利用者の情報を報告する ②一人一人が尊重し支え合える環境を目指す	令和4年 4月	令和4年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①研修への参加	①施設内研修、外部研修に参加しスキルアップを図る	令和4年 4月	令和4年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①稼働率85%を維持する	①空床を出来るだけ作らず利用希望者を速やかに入所できる体制を確保する	令和4年 4月	令和4年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①地域サービスとの連携強化	①-1 地域包括支援センターとの連携を密に行う ①-2 ケアマネージャー及び他のサービス事業所との協働	令和4年 4月	令和4年 3月

3) 通所介護

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①コミュニケーションの円滑化 ②チームワークの構築 ③モチベーション	①挨拶を徹底し、話しやすい環境を作る ②同じ目標を達成する為に、【報連相】を強化していく ③スタッフの意見や提案の	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

		の向上	吸い上げる環境を整える		
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①知識・技術の向上 ②得意分野を活かす ③働きやすい職場作り	①施設内外の研修の参加。 部署内での勉強会を定期的に実施 ②スタッフ個人の強みを活かしたプログラムの実施 ③人間関係や、仕事の悩み等の早期介入	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①稼働率・新規利用者の獲得 ②コスト削減	①外部の営業活動に力を入れていく ②業務の効率化を図り、残業や光熱費等の削減をしていく	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①満足度の向上 ②年間行事の充実を図る ③衛生管理の徹底	①利用者・家族・地域のニーズを把握し、サービスに繋げていく ②季節を感じられるイベントを提供する ③安心して利用出来るよう感染症対策の徹底していく	令和4年 4月	令和5年 3月

4) 訪問介護（含. 障害福祉サービス）

＼	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①信頼関係を築く ②情報を共有し、見える化を強化	①得意、不得意を認めて、お互いをフォローする ②ラインを使い、緊急時でも報連相が徹底出来るようにする	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①やる気、意欲を高める ②定時退勤・希望休暇の取得	①目標を掲げた研修への参加をする ②業務の役割分担と、パソコン入力の進捗状況を明確にする	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営	①利用者数・稼働	①-1 職員の健康管理に十分	令和4年	令和5年

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

	一法人の安定経営を図るー	率を上げる	気を付け、定量目標（利用者数：60名 訪問回数：407回）に到達できるようする ①-2 特定事業所加算Ⅱの取得要件（認知症・感染症・法令遵守等の研修・介護福祉士資格保有者率30%以上等）を満たすようする	4月	3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①利用者のニーズに柔軟な思考でサービスを提供する。	①-1 コロナ感染拡大防止対策を徹底して行い、必要なサービスを継続して提供する ①-2 利用者・家族や多職種と連携を密に取り、一緒に考え希望に添えるよう、自立支援に向けたサービスを提供する	令和4年 4月	令和5年 3月

3. 萩野地域包括支援センター

〔基本目標〕

- ①地域包括ケアシステムにおける地域の中核機関として、地域全体で支える体制、ネットワーク構築に努める。
- ②安心して相談できる『顔の見える相談所』となるよう職員を定着させ専門性を高める。
- ③地域実態の把握・課題分析を通じて地域診断し、課題抽出、解決に向けた活動に取り組む。

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 －チーム力の強み－ 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①互いの尊重 ②専門性のスキルアップ ③一人で抱え込まない	①互いを認め合い、互いに成長していく関係性の構築 ②-1 積極的に研修へ参加し、アウトプットを行う ②-2 学びを自身の術とする ③-1 相談しやすい職場環境づくり ③-2 ミーティングにて、互いに助言・提案ができ、受け止める力をつける。チーム検討	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 －人材確保の強化と人材マネジメントの推進－	①ネットワーク構築 ②顔の見える相談所	①他機関・専門職・地域住民との関わりや繋がりを作る ②地域活動等に積極的な参加	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 －法人の安定経営を図る－	①業務のみえる化 ②地域・行政から信頼 ③委託業務の継続	①地域・協議会などへセンターの取組と地域課題について理解が深まるよう働きかける ②地域とともに、行政に対し課題解決に向けた働きかけを行う ③行政と共に認識を持つようにする	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの	①総合相談の充実	①緊急性の判断、適切な情報提供、各関係機関への繋ぎ	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	②情報管理 ③関係機関との連携	が行える相談援助技法のスキルアップ ②必要時に適切な情報提供が行えるよう、情報更新、管理を行う ③コロナ禍においても、ICTを活用し他機関との連携を図る		
-------------------------------------	------------------------	--	--	--

4. ケアプランセンターけいわ

〔基本目標〕

○住み慣れたご自宅での生活を継続出来るケアマネジメントの実施

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 一チーム力の強みー 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①報連相を徹底し、プロフェッショナルな支援の提供を行う	①毎朝のミーティングで個々の利用者の情報共有を実施し、質の高いケアマネジメントを実施する	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 一人材確保の強化と人材マネジメントの推進ー	①個々の特性を把握し、育成に生かす	①-1 各研修への参加 ①-2 事例検討会の実施	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 一法人の安定経営を図るー	①特定事業所加算Ⅱの算定維持	①-1 算定基準の順守 ①-2 標準件数の確保	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 ーWITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続ー	①コロナ禍であっても必要な支援を提供出来るようにする	①感染対策をしっかりと実施し、タブレット等の活用により、可能な限り通常通りの支援が提供出来るようにする	令和4年 4月	令和5年 3月

5. えまーぶる

〔基本目標〕

- ① チームワークの強化
- ② 経営の安定化
- ③ 質の高いサービス

1) 通所介護事業所えまーぶる

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①コミュニケーションの円滑化 ②プロ意識を持って働く ③多職種協働	①お互いを尊重し思いやれる環境作り ②利用者、家族が満足できるよう、常に努力をする ③多職種で連携しチーム介護を実践する	令和4年 4月	令和4年 9月
II	人材の確保と職員の育成・定着 一人材確保の強化と人材マネジメントの推進	①介護技術の向上 ②一人一人のパフォーマンスを引き出す	①施設内研修・外部研修の充実 ②適切な教育、研修の実施、成長できる環境の整備	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①稼働率を95%に上げる ②継続的に業務改善を行う取り組み	①次月の利用人数の見通しを立て、稼働率の維持に努める ②コスト削減や業務環境の簡素化	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①利用者、家族に寄り添いサービスを安心して受けられる ②職員の自己実現 ③年間行事の充実 ④地域から信頼、愛される施設づくり	①常に相手（利用者、家族）の立場に立って考え、言葉や表情、様子を見ながら接する ②生き生きと満足して働ける環境の整備 ③年間を通して季節を感じられるプログラムや食事の実施 ④地域住民や民生委員との関係づくり	令和4年 4月	令和5年 3月

2) 居宅介護支援事業所えまーぶる

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①事業所内での情報共有 ②信頼関係の構築	①ミーティングでの報告により、個々の進捗状況や他職員の取り組み、スケジュールの把握が出来る ②報連相の習慣化により、相互理解を深め、働きやすい職場環境作りが出来る	令和4年 4月	令和4年 9月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①労働環境の整備 ②必要なスキル習得の機会が得られる	①休暇取得しやすい環境作り ②法定研修及び研修参加への学びの機会を確保	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①常勤標準件数 35件(予防含) ②事業所加算の算定	①業務状況に応じた、柔軟な新規受け入れ ②加算要件を満たす体制作り	令和4年 4月	令和4年 9月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①利用者の尊重 ②家族との連携 ③多職種連携	①利用者の生活史、価値観を尊重したケアマネジメントの実施 ②環境や状況に応じた連絡手段の確保 ③地域や各関係機関との連携	令和4年 4月	令和4年 9月

6. ケアハウスえがりて

〔基本目標〕

- ① ご入居者の自己決定を可能な限り尊重し、自立支援に基づいた暮らしのサポートに努めます。
- ② 安心・楽しみ・調和のある雰囲気のなかで暮らしや生活の場の提供に努めます。
- ③ 安定的な入居者数の確保を課題とし、新規入居者の獲得のため広報活動や地域の事業所などとの連携を進めます。

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①働きやすい職場環境や人間関係作り ②信頼しあえる仕事の構築	①-1 職場内の調和を基本として、コミュニケーションの円滑化や働きやすい職場作りに務める ①-2 心身共に、お互いの体調を気にかけ声を掛け合う事やサポートが出来る関係作り ②報告、連絡、相談の徹底や情報共有等により、円滑な業務に繋げる事や、互いにフォローし合う職場作り	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①ケアハウススタッフとしての専門性の構築	①-1 施設内研修・外部研修の充実 ①-2 ケアハウス（軽費）老人ホームの役割を理解した処遇の理解を深める	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①年間平均入居者数26名以上を目指す ②安定して長くケアハウスで暮らして頂けるような支援 ③経費削減への取り組みと工夫	①-1 高い稼働率を保てるように入居希望者を速やかに入居に繋げる体制作り ①-2 内部・外部事業所との連携や仲介業者の活用、ケアハウスの広報の充実に努める ②健康管理と維持、事故予防のサポートや施設内の環境整備 ③コスト意識に基づいて、備品管理や使用を行う	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①“自分らしく暮らす”をサポート ②地域での暮らしのサポート	①余暇活動の充実や、必要な外部の介護サービスに繋げるサポート ②-1 買物や外出の機会を作る ②-2 ボランティアや慰問の受け入れ	令和4年 4月	令和5年 3月
		③WITHコロナ下での家族との繋がり	③感染対策の徹底しながら、ご入居者と家族が共に過ごせる環境作り	外部受け入れ開始時期	令和5年 3月

7. 管財課

〔基本目標〕

今年も新型コロナ感染が収まりそうもない状況が続いている、思うように各種メンテナンスが出来ない状態にあります。こんな状況の中でも感染対策を十分に取って緊急ヶ所の修理など、出来る範囲のメンテナンスをおこなって行きます。

今年度は以前より課題としております大地震等の災害時に施設ライフラインを継続出来るよう新館においては非常用発電機の早急な修理の実施、本館においては浄化槽、ボイラー等の稼働及び災害対策本部となる事務所機能が継続できるよう非常用発電機の設置を検討致します。整備にあたっては再生エネルギー転換を支援する国の補助金制度を活用します。

設備関連は職員からも要望が出ています新館ナースコール更新に向け、複数の関連会社と協議しながら、計画致します。

〔重点取り組み事項〕

- (Ⅰ) 防災対策の強化
- (Ⅱ) 設備等メンテナンス業務の充実と継続
- (Ⅲ) 火災予防と交通事故防止

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	防災対策の強化	(1) 非常用発電機の整備	①新館屋上発電機の修理と整備(スプリンクラー、浄化槽、給水ポンプ排水ポンプ、ボイラー等に対応)	令和4年 4月	令和4年 5月
			②本館非常用発電機の導入(浄化槽ボイラーの起動及び災害本部となる事務種機能の継続)	令和4年 4月	令和4年 12月
			③停電時の厨房調理機能の継続	令和4年 4月	令和4年 5月
		(2) 防災対策の確認と実行	①防災訓練の中で避難方法や防災備品等の取扱い方法の確認と見直し	令和4年 4月	令和4年 10月
			②情報の収集に努め、安否確認メールを活用して災害時速やかに職員と連絡が取れるよう定期的に訓練する	令和4年 4月	令和5年 3月
			③非常用災害食の更新	令和4年 4月	令和4年 5月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

II	設備等メンテナンス業務の充実の継続	(1)建物・設備の保全。維持管理	①新型コロナ対策として床、ガラス、ベランダ等の自主清掃の実施 ②小規模な各補修ヶ所の自主修繕 ③物品の購入及び工事発注時は裏議書提出を必須とし 2社以上複数の業者に見積を依頼、経費節減を図る	令和4年 4月	令和5年 3月
			④建築物定期報告書の際、事前に建物・設備等の調査で安全チェックを行い、早めの対応・対策をする	令和4年 7月	令和4年 8月
			⑤新館ナースコールシステムの更新の検討	令和4年 4月	令和4年 10月
		(2)ライフラインの安定供給	①空調フィルターの定期的清掃と適度な設定温度の調整	令和4年 5月	令和4年 10月
			②給水設備の見回りと監視 ③外気温を考慮したボイラー設定温度の調整 ④ガス器具、供給管のガス漏れの日常チェック ⑤その他設備機器故障時の速やかな対応	令和4年 4月	令和5年 3月
III	火災予防と交通事故防止の対策	(1)火災予防と対策	①4月と10月に消防訓練を実施、火災報知設備の取扱い、消防本部への通報、初期消火及び避難方法等の訓練を行う ②消火設備点検は年2回実施	令和4年 4月	令和4年 10月
			③日常より屋内階段等に物がないかチェック、整理整頓に心掛ける	令和4年 4月	令和5年 3月
		(2)交通規則の厳守と運転	①4月より安全運転管理者が運行前、目視によるアルコー	令和4年 4月	令和4年 10月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

		マナーの向上	ル検知の実施と10月から検知器による実施と記録 ②季節別、全国交通安全週間にあわせ施設重点事項の掲示		
		(3)施設車両の整備	①車両管理台帳を基に整備不良による事故が起きないよう点検整備を行う ②乗車前、日常点検の励行と定期的に車両の清掃をおこなう	令和4年 4月	令和5年 3月
				令和4年 4月	令和5年 3月

8. 総務課

〔基本目標〕

- ① 安定的な経営基盤の確立
- ② 人材確保と職員育成
- ③ 法人全体での連絡体制の強化

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①報告・連絡・相談 の徹底 ②情報の共有化	①定期的な会議を実施し、情 報共有や意思疎通を図る ②各事業所間における新たな 連絡体制の構築	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・ 定着 一人材確保の強化と人材マ ネジメントの推進	①法人全体での職 員確保のための 取組の実施 ②内部及び外部研 修の受講促進 ③資格取得の促進	①各事業所の代表者を集め、 定期的な職員確保のためのプ ロジェクト会議の実施 ②定期的な内部研修の実施及 び計画的な外部研修の受講 により職員個々のスキルや 知識の底上げを図る ③喫煙吸引や認知症研修等施 設運営に必要となってくる 資格取得の促進を図る	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①法人全体の運営 状況の把握 ②内部監査の実施 ③高稼働率の維持	①各事業所の代表者を集め経 営や運営状況を話し合う経 営戦略会議の定期的な実施 ②定期的な内部監査を実施 し、問題点や課題等の洗い 出しを行う ③空床期間の短縮や新規利用 者の確保により安定運営を	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

			図る		
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①WITHコロナ禍における交流の実施 ②面会やボランティア受け入れの実施 ③コロナ禍においても楽しめる行事等の実施	①コロナ禍においてもオンライン等を使用し、安全な方法で家族や地域との交流を図る ②コロナ禍において中止していた面会やボランティアの安全を考慮した上で再開する ③感染症の影響により外出等の機会がなくなってしまったご利用者に対し、コロナ禍においても楽しめる行事の実施や安全に配慮した上での外出機会を設ける	令和4年 4月	令和5年 3月

9. 研修センターけいわ

〔基本目標〕

- ① 施設内職員の有資格化を推進し、職員全体のスキルアップを図る。
- ② 一般からの募集を積極的に図り、人材確保に繋げる。
- ③ 講師を担当する法人職員の介護技術の向上を図る。

〔実施概要〕

- ① 事業所番号 第S140号
- ② 研修指定番号 第S14001号
- ③ 指定日 令和2年3月11日
- ④ 指定有効期限 令和7年3月10日
- ⑤ 研修の名称 研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）
- ⑥ 令和4年度開講届（県提出）
県への開講届を令和4年1月25日付で提出
- ⑦ 実施計画（案）
 - (a) 第1回（令和4年5月11日～令和4年10月5日）
新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点により休講とし、休講届を令和4年4月4日付で提出する予定。
 - (b) 第2回（令和4年10月19日～令和5年3月29日）
実施する方向で計画するが、状況によっては法人職員のみで実施する予定。

研修 個別番号	コース名	研修会場	研修期間	募集開始日	定員
1	研修センターけいわ介護職員初任者研修（通学）	新館3階会議室 別館3階多目的ホール	令和4年5月11日 ～令和4年10月5日	令和4年 4月1日	10名
2	研修センターけいわ介護職員初任者研修（通学）	新館3階会議室 別館3階多目的ホール	令和4年10月19日 ～令和5年3月29日	令和4年 9月1日	10名

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	チームワークの強化 —チーム力の強み— 【報連相】の徹底 プロフェッショナル意識	①担当者会議の定期的な実施 ②講師の講義技術の向上	①初任者研修の運営に関する担当者会議の実施 ②担当責任者と講師との定期的会議の実施	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材の確保と職員の育成・定着 —人材確保の強化と人材マネジメントの推進—	①人材の確保 ②職員の育成・定着 ③無資格の高校生の求人活動	①外部受講生の募集体制の強化 ②初任者研修を通して、職員の育成と定着率の向上を図る ③研修センターけいわを紹介しながら高校生の採用に繋げる	令和4年 4月	令和5年 3月
III	安定的持続可能な健全経営 —法人の安定経営を図る—	①開講による収益の確保 ②施設内職員の受講呼びかけ ③地域住民への広報活動 ④施設を知つてもらう	①一般募集定員10名の確保 ②神奈川県からの補助金の確保 ③地域に募集パンフレットのポスティングによる呼びかけ ④初任者研修の講義を通じて施設への理解を深める	令和4年 9月	令和5年 3月
IV	利用者・家族・地域に寄り添った質の高いサービスの提供 —WITHコロナの環境下でも繋がりの途切れない関係の継続—	①介護技術の向上 ②講師の指導力強化	①無資格の介護職員の有資格化を推進 ②講義を通して介護力の向上を図る	令和4年 4月	令和5年 3月

令和4年度 『けいわ荘』年間行事予定表(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 金	台面入社式 (導入セミナー)火	木	水	木	金	給食委員会 管理会議	木	火	木	水	研究センター(けいわ)水	研究センター(けいわ)水
2 土	月	火	木	土	火	敬老会行委員会 金	土	木	火	研究センター(けいわ)木	木	木
3 日	火	靈法記念日 みどりの日	木	水	木	誕生会 納涼祭	火	木	木	研究センター(けいわ)木	研究センター(けいわ)木	3
4 月	新入社員研修会 木	土	火	木	月	研究所記念日 誕生日会 金	火	木	火	正月賀正月 正月賀正月	火	4
5 火	木	木	木	木	日	給食委員会 管理会議	木	火	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
6 水	金	水	木	火	水	木	火	木	火	正月賀正月 正月賀正月	木	木
7 木	土	火	木	木	日	行事食 IC委員会 理事会	火	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
8 金	母の日 金	木	木	木	木	地域支援課会議 施設運営会議 金	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
9 土	火	木	木	木	木	ふれあい交流会 金	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
10 日	火	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
11 月	新館カーテン拉引 水	施設運営会議 木	火	水	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
12 火	木	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
13 水	施設運営会議 金	木	木	木	木	施設運営会議 金	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
14 木	土	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
15 金	日	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
16 土	月	火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
17 日	火	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
18 月	消防設備点検 水	土	火	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
19 火	木	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
20 水	金	第30期最終決算 水	土	火	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
21 木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
22 金	日	水	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
23 土	月	接遇委員会 火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
24 日	床清掃 火	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
25 月	床清掃 水	火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
26 火	木	行事食 火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
27 水	木	布団乾燥 火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
28 木	マニキュアル-防火委員会 土	火	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
29 金	昭和の日 日	水	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
30 土	月	木	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木
31	火	監事監査 日	木	木	木	木	木	木	木	正月賀正月 正月賀正月	木	木

ボランティア親睦会

令和4年度

事業計画書

社会福祉法人 敬和会

けいわ保育園

けいわ星の子保育園

目 次

けいわ保育園	30
基本理念	30
重点取り組み事項	30
達成目標及び具体的取り組み	30
行事計画	31
けいわ星の子保育園	33
基本理念	33
重点取り組み事項	33
達成目標及び具体的取り組み	33
行事計画	34

けいわ保育園

基本理念

1. けいわ保育園は、子ども一人ひとりの個性を受け入れ、大切に育てます。
2. けいわ保育園は、豊かな保育環境を用意し、遊びのなかで子どもの成長・発達を育みます。
3. けいわ保育園は、地域社会との交流を通じて「和」を学び、生きることの「意欲」・「思いやり」を育てます。
4. けいわ保育園は、子育て支援・育児支援を行います。

重点取り組み事項

- I. 専門性に基づいた保育の実践
- II. 人材確保（採用・定着）の強化と人材育成
- III. 同法人内での協力体制の促進
- IV. 地域交流と育児支援・保育の情報発信
- V. 稼働率100%を目指した、安定した運営

達成目標及び具体的取り組み

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	専門性に基づいた保育の実践	<p>①リーダーの業務分担の明確化</p> <p>②前年度の反省を元に内容を検討</p> <p>③役割の明確化と連携</p> <p>④保育会議の活用</p>	<p>①子ども自身が能動的に動ける保育環境の設定</p> <p>②コロナ渦の行事内容を検討</p> <p>③保育内容を保護者や地域に発信する取組みをチームで行う</p> <p>④発達表を使ったケース会議の実施</p>	令和4年 4月	令和5年 3月
II	人材確保（採用・定着）の強化と人材育成	<p>①他園や星の子保育園のホームページ参考にして改善点</p>	<p>①-1 ホームページを活用し、園の特色を情報発信、人材採用につなげる)</p> <p>①-2 新人保育士と中堅保育士</p>	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

		を検討する。	の研修会の実施 ①-3 役割を通して人材育成を行。今までの役割分担を充実する。		
III	同法人内での協力体制の促進	①両園の主任・副主任保育士の話し合い	①-1 けいわ・星の子の合同会議を通して、双方の保育の内容を知る。 ①-2 けいわ・星の子共同で取り組める内容を検討する。 ①-3 栄養士部会を通して、法人・えまーぶる・保育園の厨房の改善に取り組む	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	地域交流と育児支援・保育の情報発信	①両園の係が話し合いを持つ ②保育会議を通して発達表を活用する	①コロナ禍での保護者支援の方向性を検討する。（星の子保育園との合同発信） ・育児情報誌 ・動画配信 等 ②発達に特性のある児童や配慮を要する家庭への育児支援の方向性を会議を通して検討する。	令和4年 4月	令和5年 3月
V	稼働率100%を目指した安定した運営	①自己評価、振り返りの充実	①-1 地域や保護者の評価が次の入所率を上げることを意識し、保育の内容を充実させる。 ①-2 保護者の意見や苦情に対し迅速に対応する ①-3 過去の意見や苦情のケースを読み、傾聴と保護者支援の意識を持つ勉強会を持つ	令和4年 4月	令和5年 3月

行事計画

時期	行 事 内 容
4月	・新入園式（園児のみ参加）
5月	・内科健診 ・園外保育（5歳児）
6月	・お店やさん ・歯科健診 ・プラネタリウム（5歳児） ・プール開き
7月	・お楽しみ会（5歳児）

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

8月	
9月	★地震引き渡し訓練 ・敬老の日の集い ・遠足（防災の丘公園 3・4歳児） ・内科健診
10月	★運動会（2・3・4・5歳児のみ参加） ・いもほり遠足（5歳児） ・プラネタリウム（5歳児） ・消防署見学（5歳児） ・尿検査（3歳児以上）
11月	・内科健診
12月	★生活発表会 ・クリスマス会
1月	・お餅つき
2月	・わくわく会
3月	・お別れ会 ・お別れ遠足（5歳児） ★次年度保護者説明会（5歳児以外の保護者） ★卒園式（5歳児のみ保護者参加）

毎月：誕生会・身体測定（身長・体重）・避難訓練・スポーツチャンバラ（4・5歳児）

その他：調理保育（3・4・5歳児）・リズム遊び（5歳児）・花育（5歳児）

戸外給食（3・4・5歳児）

★個人面談（幼児年1回）

★クラス懇談会（乳児：年2回・幼児：年1回）

★保育参観日

㊟ ★は保護者参加の行事

けいわ星の子保育園

基本理念

- 家庭的な温かい環境のもとで、一人ひとりをしっかりと受け止め、情緒の安定した生活ができるように大切に育てます。
- 豊かな保育環境を提供し、夜間保育園ならではの多様な体験を積むなかで、子どもの成長を育みます。
- 異年齢児保育・世代間交流・地域交流などの関わりを通じ、優しい心と生きる力を育みます。
- 地域の子育て支援・育児支援を行います。

重点取り組み事項

- コロナ禍での保護者支援と、専門性に基づいた保育の実践・発信
- 5年後、10年後を見据えた職員の人材育成
- 同法人内での協力体制の促進
- 地域との交流と育児支援・保育の情報発信
- 稼働率100%を目指した、安定した運営

達成目標及び具体的取り組み

	重点取り組み事項 (達成目標)	短期目標	具体的取り組み	取組時期	達成時期
I	コロナ禍での保護者支援と、専門性に基づいた保育の実践・発信	①家庭への援助の継続 ②要支援家庭への対応 ③保育の質の向上 ④発信方法の模索・実践	①コロナ禍で余裕が無くなっている状況に寄り添う ②専門性に基づき保育士として対応し、他機関にも繋ぎ協力して子育てを支える ③コロナの制限下で、実践可能な保育を模索し、実行する ④保育実践をホームページや動画配信などを活用して発信する	令和4年 4月	令和5年 3月

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

II	5年後、10年後を見据えた職員の人材育成	①目的の供給 ②中堅の育成 ③専門性の育成 ④チームでの後輩育成	①園全体の課題と、目指すべき方向性を、全職員に共有する ②自分で発案、計画、実践を行える保育士を育てる ③それぞれの分野の責任者を任命し、意識改革を図る ④各自の課題を明確にし、共通意識を持って後輩育成に取り組む	令和4年 4月	令和5年 3月
III	同法人内の協力体制の促進	①けいわとの協力 ②園内に法人取組の発信 ③人材確保の効率化	①けいわ保育園との合同会議の定例化 ②保護者に向けた両園での合同発信 ③法人全体で情報を共有し、効果的な人材確保を目指す	令和4年 4月	令和5年 3月
IV	地域との交流と育児支援・保育の情報発信	①子育て支援の実施 ②夜間保育の魅力の発信 ③地域に法人取組の発信	①コロナ禍でも可能な子育て支援事業の模索、実施 ②夜間保育の特色を地域に向けて発信し、夜間保育園への理解を深める ③けいわと合同で行っている取組みの合同発信	令和4年 4月	令和5年 3月
V	稼働率100%を目指した、安定した運営	①出来るだけ早い段階での園児確保	①上記I～IVの取組みをもとに、 (a)専門性に基づく保育の実践 (b)実践可能な保育士の確保、育成 (c)保護者の満足度の向上 (d)地域等への取組みの発信 を行い、定員を充足させ安定した運営を目指す	令和4年 4月	令和5年 3月

行事計画

時 期	行 事 内 容
4 月	・進級式(4/1)
5 月	・内科健診(5/11) 　・苗植え遠足(5/26)
6 月	・歯科検診 　・職員研修会(6/22) ・プラネタリウム鑑賞 　・5歳児懇談会
7 月	・七夕会 　・お楽しみ保育(7/15) 　・納涼祭参加
8 月	・夏祭りごっこ(8/25、8/26)
9 月	・引き渡し訓練(9/2) 　・内科健診

社会福祉法人敬和会
令和4年度事業計画書（案）

	・お月見会（9/9）	・3.4歳児懇談会（9/14）
10月	・運動会（10/1）	・いもほり遠足（10/13）
11月	・戸外遠足（11/10）	・炊き出し訓練
	・演劇鑑賞会（4.5歳児）	・内科健診
12月	・消防署見学	・5歳児個人面談
1月	・クリスマス会・お餅つき・職員研修会	
2月	・こま廻し会	・3.4歳児個人面談
3月	・節分会	・0.1歳児懇談会（1/18）
	・生活展	
3月	・ひな祭り会	・お別れ遠足
	・進級説明会	・卒園式

- ☆ 避難訓練 : 毎月実施
- ☆ 身体検査 : 每月実施
- ☆ 誕生会 : 毎月実施
- ☆ スポチャン : 4・5歳児参加（けいわ保育園にて実施。10時開始）
- ☆ 花育 : 5歳児参加（けいわ保育園にて実施予定。10時開始）
- ☆ 遠足 : 気候の良い日に合った時期に実施（3歳以上）
- ☆ 懇談会 : 日程表示、詳細はクラス担任より
- ☆ 子育支援事業 : 全園児参加・一般
- ☆ 個人面談 : 隨時